

岩手県立特別支援学校における医療的ケアヒヤリハット

データベース解析による医療的ケア児の安全管理に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月から2022年7月の期間に発生したヒヤリハット報告はすでに岩手県教育委員会にて集計されています。そのため、この期間に岩手県立特別支援学校に在籍していた医療的ケア児童生徒が今回の研究の対象に含まれます。

2. 研究期間

研究実施許可後～2024年3月31日まで

3. 研究目的・方法

「ヒヤリハット」は「インシデント（偶発事象）」と同義として用いられており、思いがけない出来事に対して適切な処理が行われないと事故（アクシデント）となる可能性のある事象です。ヒヤリハット事例とは、児童生徒等に被害を及ぼすことはなかったが、日常場面でヒヤリとしたりハットとしたりした経験を有する事例のことを指します。特別支援学校における医療的ケアに伴うヒヤリハット事例について、医学・教育学系学術専門誌に報告したり、自治体等のホームページ上に公開したりし情報共有することは有意義ですが現時点でその数は少なく、国内の医学系学術専門誌に掲載された報告は、多数の教員が認定特定行為業務従事者となり医療的ケアを実施している神奈川県からの2編しかありません。岩手県立特別支援学校では学校における医療行為をすべて看護師が施行しているため、ヒヤリハット事例の件数や内容は、多くの教員が特定行為を実施している自治体からの報告とは異なると考えられます。

本研究では、過去11年間に岩手県立特別支援学校に在籍する医療的ケア児に発生したヒヤリハット報告から作成された「医療的ケアヒヤリハット事例データベース」を使用し、ヒヤリハット発生時の状況について解析し、学校看護師によるヒヤリハット報告に係る改善点を考察し、医療的ケア児にとってさらにいっそう安心安全な学校環境をつくるための基礎資料にします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

岩手県教育委員会にて集計されており、「医療的ケア ヒヤリハット事例 データベース」(Excel ファイル)

5. 個人情報の保護と患者識別

本研究で岩手県教育委員会から岩手医科大学に提供するデータベースには特定の個人を識別できるような情報は記載されていません。

5. 研究費および利益相反

研究費は障がい児者医療学講座の研究助成費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係はありません。

6. 研究組織

本研究は岩手県教育委員会の許可のもとで行われます。岩手県教育委員会は情報の提供のみを行う機関であり、それ以上の役割を担うことはなく、共同での論文発表も行いません。

7. 研究結果の公表

本研究によって得られた研究成果は研究者がまとめ、2023 年度に開催される日本小児科学会学術集会での発表や医学系専門誌に公表する予定です。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 亀井 淳

岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL : 019-613-7111 (代表) (内線 3701)

FAX : 019-613-7104

E-mail : akamei@iwate-med.ac.jp